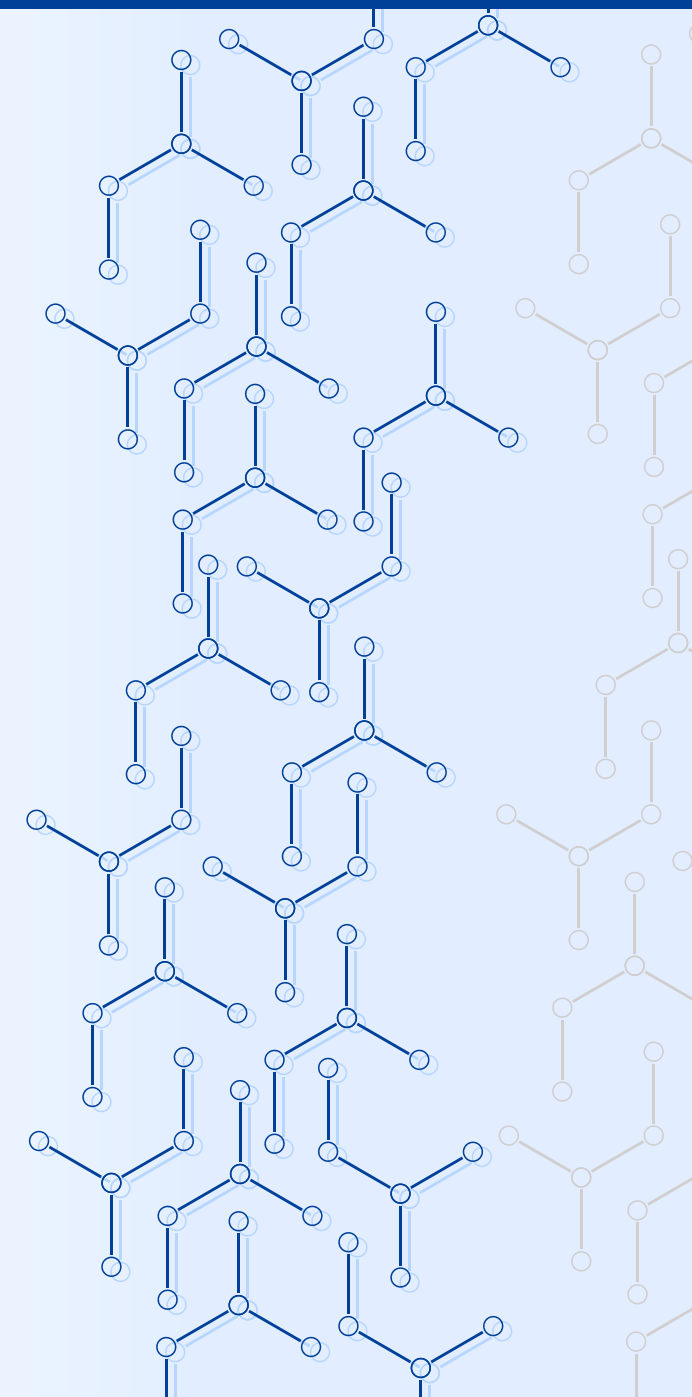


# 2025年3月期第1四半期決算の概要

2024年8月7日

東レ株式会社



I. 2025年3月期 第1四半期決算の概要	.....	3
II. 2025年3月期 上期連結業績見通し	.....	16
III. 参考資料	.....	19

# 本日のサマリー

## 連結業績

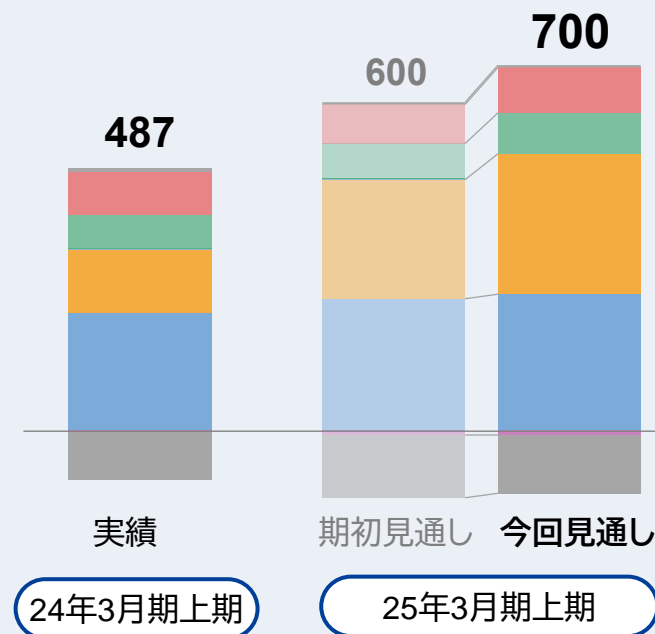
- 1 第1四半期の事業利益は368億円と前年同期比で大幅な増益
- 2 上期の事業利益は第1四半期業績動向等を踏まえ期初見通しを上方修正
- 3 通期見通しは第2四半期の決算発表時に適宜見直しを予定

	2025年3月期 第1四半期 事業利益		2025年3月期 上期 事業利益		
	実績	前年同期比	期初見通し*	今回見通し	期初見通し比
■ 繊維	148	+39	305	315	+10 ↑
■ 機能化成品	183	+109	275	325	+50 ↑
■ 炭素繊維複合材料	51	+24	80	95	+15 ↑
■ 環境・エンジニアリング	51	-11	90	105	+15 ↑
■ ライフサイエンス	▲8	-4	▲10	▲10	-
■ その他	3	-1	5	5	-
■ 調整額	▲61	-8	▲145	▲135	+10 ↑
<b>合計</b>	<b>368</b>	<b>+149</b>	<b>600</b>	<b>700</b>	<b>+100</b> ↑

\*期初見通し:2024年5月13日公表値

## 上期 事業利益推移

(億円)



■ 繊維 ■ 機能化成品 ■ 炭素繊維複合材料  
 ■ 環境・エンジニアリング ■ ライフサイエンス  
 ■ その他 ■ 調整額

# 2025年3月期第1四半期決算の概要

# 2025年3月期第1四半期連結損益概要

億円

	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
売上収益	5,781	<b>6,377</b>	+597 (+10.3%)
事業利益	219	<b>368</b>	+149 (+67.8%)
(売上収益事業利益率)	3.8%	<b>5.8%</b>	+2.0 ポイント
非経常項目	▲ 11	<b>13</b>	+24
金融収益及び費用	6	<b>4</b>	-2
持分法による投資利益	37	<b>33</b>	-4
税引前四半期利益	251	<b>418</b>	+167 (+66.5%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	139	<b>269</b>	+129 (+92.6%)

<為替レート>

		24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期
円/US\$	期中平均	137.4	<b>155.9</b>
	期末	145.0	<b>161.1</b>
円/ユーロ	期中平均	149.5	<b>167.9</b>
	期末	157.6	<b>172.3</b>

<非経常項目>

固定資産売却益	2	<b>34</b>	+32
固定資産処分損	▲ 9	<b>▲ 13</b>	-5
減損損失	▲ 5	<b>▲ 8</b>	-3
非経常項目	▲ 11	<b>13</b>	+24

# 資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	24年3月末	24年6月末	増減
資産合計	34,665	<b>35,960</b>	+1,295
流動資産	15,226	<b>15,699</b>	+473
有形固定資産	10,811	<b>11,245</b>	+434
その他	8,628	<b>9,016</b>	+389
負債合計	16,202	<b>16,504</b>	+303
流動負債	8,657	<b>8,731</b>	+74
非流動負債	7,544	<b>7,774</b>	+229
資本合計	18,464	<b>19,456</b>	+992
自己資本*	17,360	<b>18,316</b>	+955
自己資本比率*	50.1%	<b>50.9%</b>	+0.9ポイント
有利子負債残高	9,497	<b>9,708</b>	+211
D/Eレシオ	0.55	<b>0.53</b>	-0.02

## <フリー・キャッシュ・フローの状況>

	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	443	<b>571</b>	+127
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 318	<b>▲ 365</b>	-47
フリー・キャッシュ・フロー	125	<b>206</b>	+80

\*自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
設備投資額	235	360	+125
東レ	33	79	+46
連結子会社	202	281	+79
減価償却費	319	334	+15
東レ	84	84	+0
連結子会社	235	250	+15
研究開発費	155	175	+20
東レ	108	120	+12
連結子会社	47	55	+8

## 主な設備投資案件

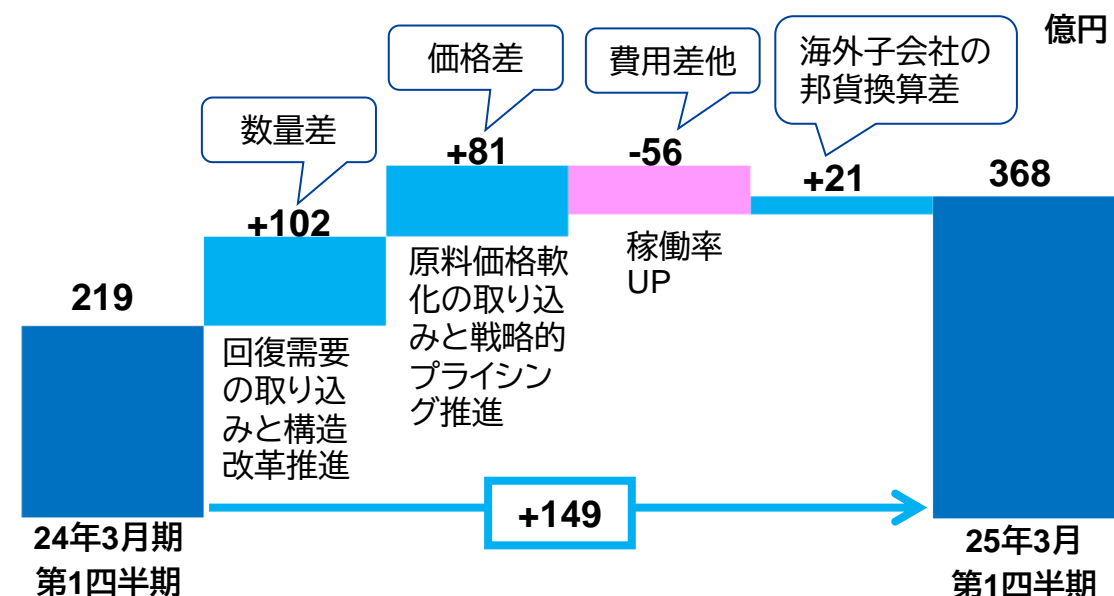
Toray Advanced Materials Korea Inc.	:	PPS樹脂生産設備、炭素繊維生産設備
Toray Composite Materials America, Inc.	:	炭素繊維生産設備
Toray Carbon Fibers Europe S.A.	:	炭素繊維生産設備

# セグメント別売上収益・事業利益、事業利益増減要因分析

		億円		
		24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
売上 収益	繊維	2,238	<b>2,448</b>	+210 (+9.4%)
	機能化成品	2,148	<b>2,417</b>	+269 (+12.5%)
	炭素繊維複合材料	687	<b>777</b>	+89 (+13.0%)
	環境・エンジニアリング	560	<b>575</b>	+15 (+2.7%)
	ライファイブス	113	<b>121</b>	+9 (+7.5%)
	その他	34	<b>39</b>	+5 (+13.5%)
	合計	5,781	<b>6,377</b>	+597 (+10.3%)
事業 利益	繊維	109	<b>148</b>	+39 (+35.7%)
	機能化成品	74	<b>183</b>	+109 (+147.5%)
	炭素繊維複合材料	27	<b>51</b>	+24 (+87.5%)
	環境・エンジニアリング	62	<b>51</b>	-11 (-17.7%)
	ライファイブス	▲5	▲8	-4 (-)
	その他	4	<b>3</b>	-1 (-20.2%)
	調整額	▲52	▲61	-8
	合計	219	<b>368</b>	+149 (+67.8%)
事業利益率	3.8%	5.8%	+2.0 ポイント	

**< 25年3月期 第1四半期 連結業績実績 >**

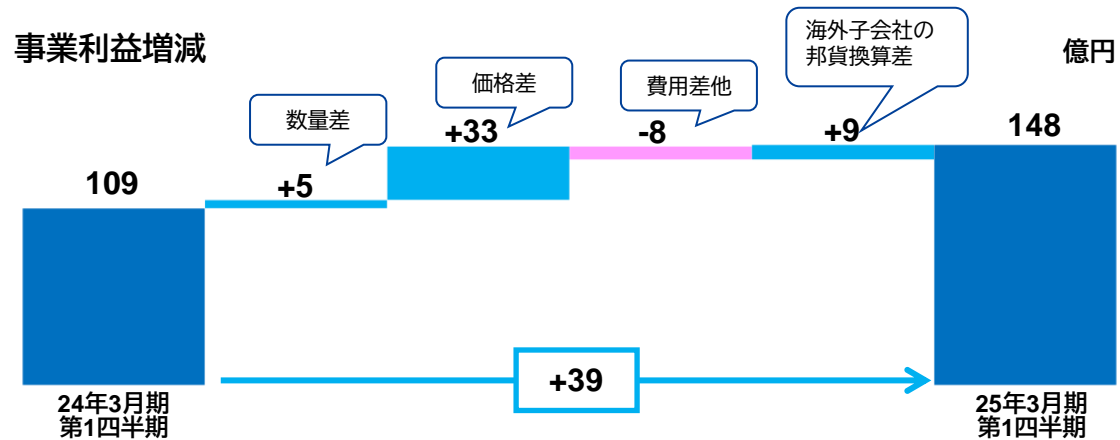
繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料セグメントが堅調に推移。  
 特に機能化成品セグメントは、樹脂事業は中国市場等の需要回復、フィルム事業は前期の在庫調整の反動による需要伸長を主因に大幅な収益改善となった。  
 これらの結果、全社事業利益は368億円となり、前年同期比67.8%の増益となった。





# セグメント別業績(繊維)

		億円		
		24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	517	571	+54 (+10.4%)
	国内	1,058	1,128	+70 (+6.6%)
	海外	1,533	1,723	+191 (+12.5%)
	修正	▲ 870	▲ 975	-105
	計	2,238	2,448	+210 (+9.4%)
事業利益	東レ	33	35	+2 (+7.0%)
	国内	35	30	-4 (-12.2%)
	海外	49	89	+40 (+81.9%)
	修正	▲ 7	▲ 6	+1
	計	109	148	+39 (+35.7%)



## < 概況 >

### ■ 全般

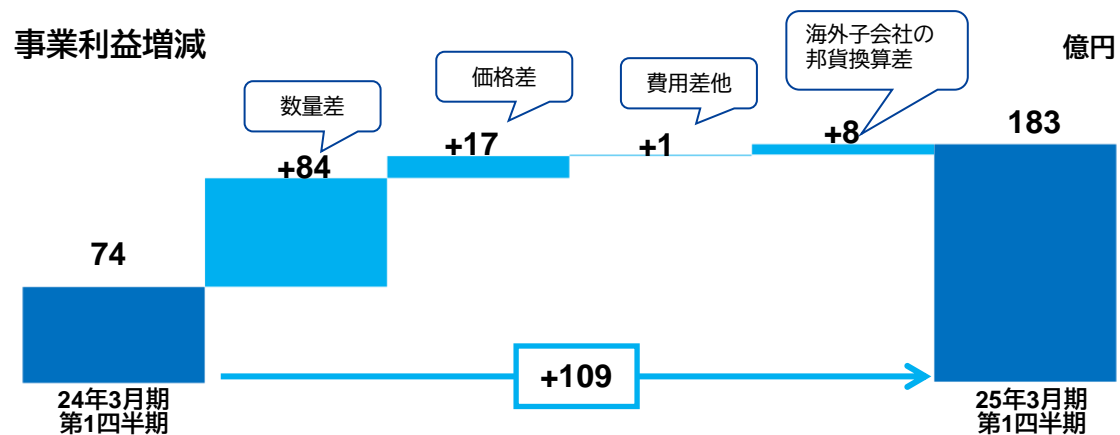
衣料用途は欧州市場の低迷や海外品との競争激化の影響は継続しているが、総じて堅調に推移した。産業用途は自動車用途が需要回復傾向にあるが、国内自動車メーカーの減産や中国EV市場での競争激化の影響を受けた。

## <トピックス>

- 24年5月:  
サニブラウン・アブデル・ハキーム選手と、高機能ウェアを共同で開発。サニブラウン選手の要望に最大限対応することができる東レの最先端高機能素材を使用した共同開発ウェアは、プーマ ジャパン(株) より、「HSB DAWNコレクション」として6月に販売が開始された。

# セグメント別業績(機能化成品)

		億円		
		24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	573	623	+50 (+8.7%)
	国内	1,225	1,251	+26 (+2.1%)
	海外	1,400	1,754	+354 (+25.3%)
	修正	▲ 1,050	▲ 1,210	-161
	計	2,148	2,417	+269 (+12.5%)
事業利益	東レ	▲ 3	35	+38 (-)
	国内	54	69	+15 (+27.3%)
	海外	22	89	+67 (+311.5%)
	修正	2	▲ 9	-10
	計	74	183	+109 (+147.5%)



## < 概況 >

- 樹脂・ケミカル事業  
樹脂事業は国内自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、中国およびアセアン向け非自動車用途の需要が回復した。ケミカル事業は堅調に推移した。
- フィルム事業  
電子部品関連用途において、サプライチェーンの在庫調整の反動から需要が伸長した。
- 電子情報材料事業  
有機EL関連材料・回路材料の需要に回復が見られた。

## <トピックス>

- 24年5月:  
製造工程から出る端材を利用し、自動車ワイヤーハーネス用コネクタに適用可能なリサイクルPBT樹脂グレードを矢崎総業(株)と共同で開発。既存のコネクタ用PBT樹脂グレードと比較し、材料製造時のCO<sub>2</sub>排出量の低減が可能なりリサイクルPBT樹脂でありながら、従来材料と同等の材料特性を実現。
  - 24年5月:  
先端半導体向けに、当社独自のNANOALLOY®\*1技術によってガスバリア性と耐熱柔軟性を備えたPFAS\*2フリーのモールド離型フィルムを開発。本フィルムは、欧州等で規制が検討されている有機フッ素化合物を含まない材料から成り、モールド工程でみられる課題であった金型汚れを従来比1/5以下に抑制することで最先端の半導体製造の稼働率向上に貢献する。
- \*1 複数のポリマーをナノメートルオーダーで混合させることで、従来材料と比較して飛躍的な特性向上を発現させることができる当社独自の革新的微細構造制御技術
- \*2 人工的に作られた有機フッ素化合物の総称。難分解性をもつPFASは、環境への流出量を抑制するために欧州で規制が検討されている。

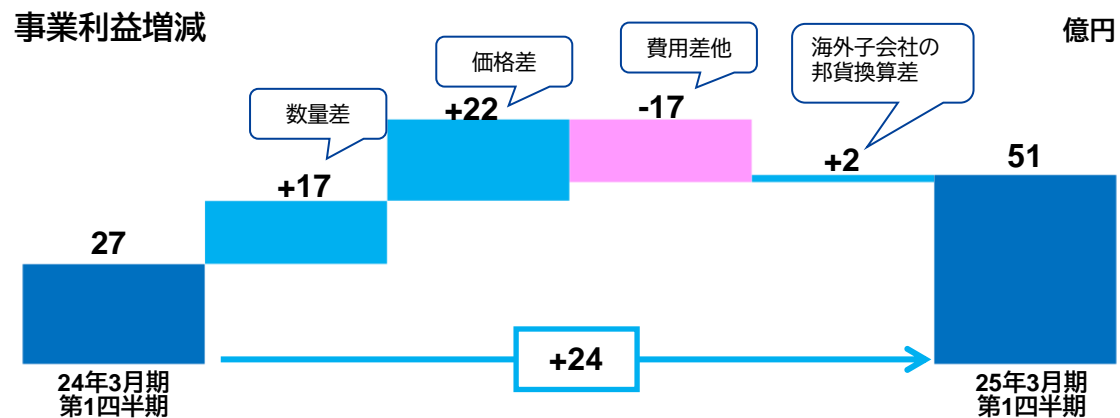
# 機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	24年3月期 第1四半期		25年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	938	29%	<b>1,063</b>	<b>29%</b>	<b>+13%</b>
フィルム	794	25%	<b>962</b>	<b>27%</b>	<b>+21%</b>
電子情報材料	156	5%	<b>191</b>	<b>5%</b>	<b>+23%</b>
商事他	1,311	41%	<b>1,411</b>	<b>39%</b>	<b>+8%</b>
修正	▲ 1,050	-	▲ <b>1,210</b>	-	-
合計	2,148		<b>2,417</b>		<b>+13%</b>

# セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

		億円		
		24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	213	249	+36 (+16.8%)
	国内	158	171	+13 (+8.3%)
	海外	667	730	+63 (+9.5%)
	修正	▲ 350	▲ 372	-22
	計	687	777	+89 (+13.0%)
事業利益	東レ	42	43	+1 (+2.6%)
	国内	2	4	+1 (+54.9%)
	海外	7	22	+15 (+229.7%)
	修正	▲ 24	▲ 18	+6
	計	27	51	+24 (+87.5%)



## < 概況 >

- 全般  
航空宇宙用途が順調に回復を続けているほか、風力発電翼用途に緩やかな回復が見られた。

## <トピックス>

- 24年5月:  
日本自転車競技連盟トラック競技強化指定選手のトレーニングセンターとしてアスリートを強化、育成するHigh Performance Center of Japan Cyclingと共に、革新的なトラックレース用バイク「V-Izu(ブイ・イズ)」の2つのモデル「TCM-1」および「TCM-2」を、東レ・カーボンマジック(株)が開発。公益財団法人日本自転車競技連盟が参加する国際大会などで使用される予定。

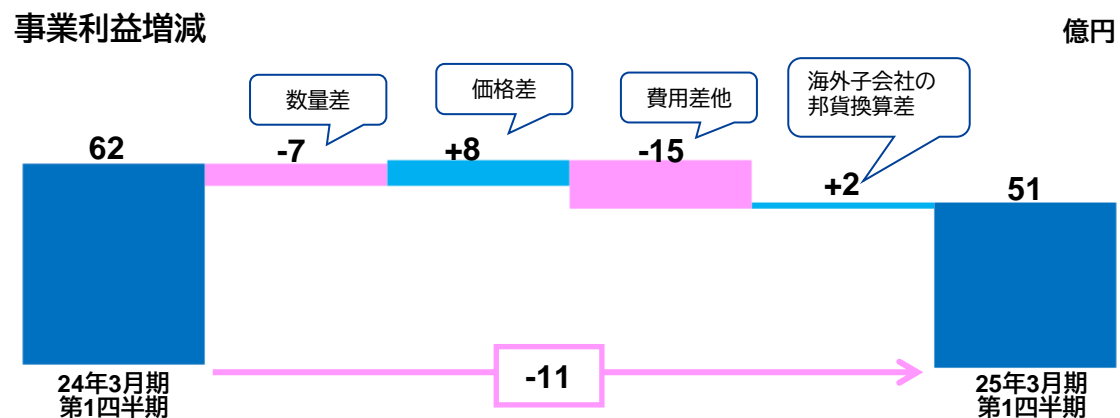
# 炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

	24年3月期 第1四半期		25年3月期 第1四半期		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	178	26%	<b>275</b>	<b>35%</b>	<b>+55%</b>
スポーツ	68	10%	<b>69</b>	<b>9%</b>	<b>+2%</b>
一般産業	442	64%	<b>433</b>	<b>56%</b>	<b>-2%</b>
合計	687		<b>777</b>		<b>+13%</b>

# セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

		億円		
		24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	93	131	+38 (+41.0%)
	国内	536	552	+16 (+3.0%)
	海外	182	207	+25 (+13.9%)
	修正	▲ 251	▲ 315	-64
	計	560	575	+15 (+2.7%)
事業利益	東レ	11	15	+4 (+35.3%)
	国内	21	13	-8 (-38.3%)
	海外	26	25	-1 (-2.7%)
	修正	4	▲ 2	-6
	計	62	51	-11 (-17.7%)



## < 概況 >

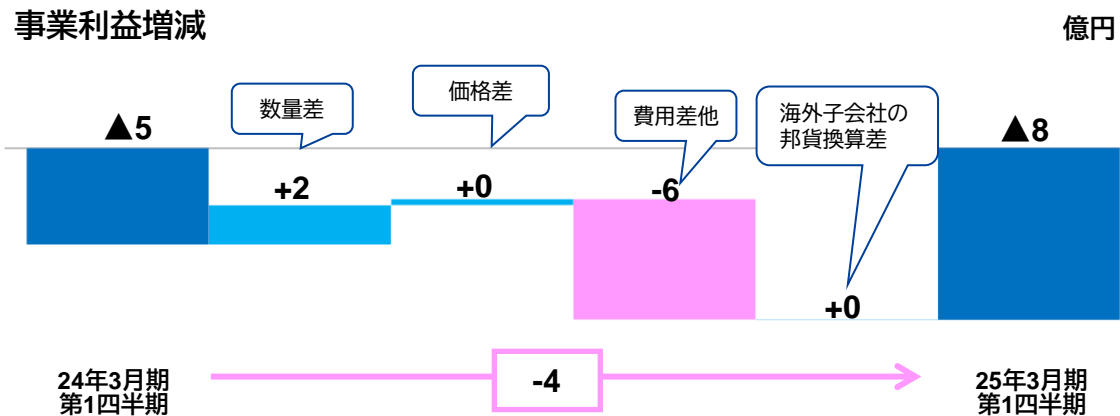
- **水処理事業**  
逆浸透膜の2大市場である米国・中国において需要が堅調に推移したほか、中東向けの大型案件により増収増益となった。
- **国内子会社**  
建設子会社が高収益物件の販売減少の影響を受けた。

## <トピックス>

- 24年4月:  
東レエンジニアリング(株)と(株)アドバンテストが、ミニ/マイクロLEDディスプレイの製造分野における戦略的パートナーシップを締結。両社の検査・転写・実装技術やデータ解析技術、製造に関連する技術を、ディスプレイメーカーである顧客に提供することで、ミニ/マイクロLEDディスプレイの効率的な生産技術の確立および市場の拡大を共同で推進する。

# セグメント別業績(ライフサイエンス)

		億円		
		24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減
売上収益	東レ	54	58	+4 (+6.6%)
	国内	93	95	+2 (+1.9%)
	海外	31	41	+10 (+31.6%)
	修正	▲ 65	▲ 72	-7
	計	113	121	+9 (+7.5%)
事業利益	東レ	▲ 6	▲ 11	-5 (-)
	国内	▲ 0	▲ 0	+0 (-)
	海外	1	▲ 0	-1 (-)
	修正	1	3	+2
	計	▲ 5	▲ 8	-4 (-)



## < 概況 >

- **医薬事業**  
後発医薬品浸透の影響と薬価改定の影響を受けたほか、海外で販売量が伸び悩んだ。
- **医療機器事業**  
血液透析ろ過用ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移したが、原燃料価格高騰の影響を受けた。

## <トピックス>

- 24年4月：  
東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座、および学校法人帝京大学それぞれと共同で行った非臨床研究において、ポリマー結合型抗がん剤(コード名:TXB-001)が、複数の固形がん種に対して強い抗がん作用を示すこと、さらに、既存のアンスラサイクリン系抗がん剤\*1に認められる心毒性\*2をはじめとした複数の毒性が顕著に低減することを確認。2030年代の実用化を目指す。

\*1 乳がん・卵巣がん・血液腫瘍など多くのがん種に対する標準治療に用いられる抗がん剤。がん細胞だけでなく正常な細胞にも作用するため副作用を伴う。

\*2 薬物などの投与により心臓に生じる心不全、虚血性心疾患、高血圧、血栓塞栓症、不整脈などのこと。アンスラサイクリン系抗がん剤には心毒性の副作用があるため、累積投与量が制限されている。

# 主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減	24年3月期 第1四半期	25年3月期 第1四半期	増減	
東レインターナショナル	1,364	<b>1,448</b>	+84	28	<b>31</b>	+3	
東レエンジニアリング	271	<b>281</b>	+10	8	<b>10</b>	+1	
東レ建設	103	<b>103</b>	+0	9	<b>3</b>	-6	
東レフィルム加工	91	<b>101</b>	+10	4	<b>6</b>	+3	
在東南アジア・子会社	繊維	357	<b>403</b>	+46	<b>▲5</b>	<b>14</b>	+18
	機能化成品	224	<b>282</b>	+58	<b>▲5</b>	<b>11</b>	+16
	その他	3	<b>2</b>	-0	0	<b>0</b>	-0
	計	584	<b>687</b>	+104	<b>▲9</b>	<b>25</b>	+34
在中国・子会社	繊維	645	<b>792</b>	+147	46	<b>73</b>	+27
	機能化成品	253	<b>313</b>	+60	19	<b>23</b>	+4
	その他	118	<b>130</b>	+12	15	<b>12</b>	-3
	計	1,016	<b>1,235</b>	+219	79	<b>107</b>	+28
在韩国・子会社	繊維	253	<b>248</b>	-5	<b>▲0</b>	<b>▲3</b>	-3
	機能化成品	397	<b>497</b>	+100	12	<b>48</b>	+37
	その他	88	<b>83</b>	-5	13	<b>9</b>	-4
	計	738	<b>828</b>	+90	24	<b>54</b>	+30





# 2025年3月期 上期連結業績見通し

# 2025年3月期 上期連結業績見通し

## 業績見通しの前提

世界経済は、インフレ率の低下や金融緩和とともに緩やかに上向いていくものと見られ、国内経済も緩やかな回復が見込まれる。ただし、大統領選挙が実施される米国での財政政策や通商政策の変化、中国での不動産不況の長期化、欧米での利下げ開始時期の遅れによる消費減速、日銀の金融政策変更や為替変動等が内外経済の下振れ材料として挙げられる。

	24年3月期 上期実績	25年3月期 上期見通し	増減		期初見通し* 上期	期初見通し との差異
売上収益	11,994	<b>13,100</b>	+1,106	(+9.2%)	<b>12,600</b>	+500
事業利益	487	<b>700</b>	+213	(+43.8%)	<b>600</b>	+100
親会社の所有者に 帰属する当期利益	289	<b>460</b>	+171	(+59.4%)	<b>390</b>	+70

億円

\*期初見通し:2024年5月13日公表値

基本的1株当たり 当期利益	18.03 円	<b>28.71 円</b>
1株当たり配当金	9.00 円	<b>9.00 円</b>

7~9月  
為替レート的前提  
150円/US\$

# セグメント別 上期連結業績見通し

		24年3月期実績			25年3月期見通し	増減	億円 期初見通し* との差異
		上期	下期	通期	上期	上期	上期
売上収益	繊維	4,812	4,936	9,748	<b>5,120</b>	+308	+200
	機能化成品	4,331	4,530	8,861	<b>4,870</b>	+539	+200
	炭素繊維複合材料	1,411	1,493	2,905	<b>1,570</b>	+159	+110
	環境・エンジニアリング	1,115	1,325	2,441	<b>1,200</b>	+85	-10
	ライセンス	248	275	522	<b>260</b>	+12	—
	その他	76	93	169	<b>80</b>	+4	—
	合計	11,994	12,652	24,646	<b>13,100</b>	+1,106	+500
事業利益	繊維	272	275	547	<b>315</b>	+43	+10
	機能化成品	145	222	367	<b>325</b>	+180	+50
	炭素繊維複合材料	76	56	132	<b>95</b>	+19	+15
	環境・エンジニアリング	102	130	232	<b>105</b>	+3	+15
	ライセンス	▲ 5	▲ 8	▲ 13	<b>▲ 10</b>	-5	—
	その他	8	25	33	<b>5</b>	-3	—
	調整額	▲ 111	▲ 160	▲ 272	<b>▲ 135</b>	-24	+10
	合計	487	539	1,026	<b>700</b>	+213	+100
事業利益率		4.1%	4.3%	4.2%	<b>5.3%</b>	+1.3p	+0.6p

\* 期初見通し: 2024年5月13日公表値

III

# 參考資料

# セグメント別四半期推移

億円

		24年3月期					25年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
売上収益	繊維	2,238	2,574	2,642	2,294	9,748	2,448
	機能化成品	2,148	2,183	2,265	2,264	8,861	2,417
	炭素繊維複合材料	687	724	682	812	2,905	777
	環境・エンジニアリング	560	556	535	791	2,441	575
	ライフサイエンス	113	135	136	139	522	121
	その他	34	42	41	53	169	39
	合計	5,781	6,213	6,300	6,352	24,646	6,377
事業利益	繊維	109	163	166	109	547	148
	機能化成品	74	71	98	123	367	183
	炭素繊維複合材料	27	49	38	18	132	51
	環境・エンジニアリング	62	40	44	86	232	51
	ライフサイエンス	▲ 5	▲ 1	▲ 3	▲ 5	▲ 13	▲ 8
	その他	4	4	9	16	33	3
	調整額	▲ 52	▲ 59	▲ 67	▲ 94	▲ 272	▲ 61
	合計	219	268	285	254	1,026	368

# 機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	24年3月期					25年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
樹脂・ケミカル	938	958	1,029	988	3,912	<b>1,063</b>
フィルム	794	812	810	890	3,305	<b>962</b>
電子情報材料	156	157	170	172	655	<b>191</b>
商事他	1,311	1,225	1,354	1,335	5,225	<b>1,411</b>
修正	▲ 1,050	▲ 969	▲ 1,097	▲ 1,121	▲ 4,236	▲ <b>1,210</b>
合計	2,148	2,183	2,265	2,264	8,861	<b>2,417</b>

# 炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	24年3月期					25年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
航空宇宙	178	217	232	282	909	275
スポーツ	68	67	70	65	270	69
一般産業	442	440	379	464	1,726	433
合計	687	724	682	812	2,905	777



# 主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

	24年3月期					25年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	
東レインターナショナル	1,364	1,486	1,606	1,372	5,829	<b>1,448</b>	
東レエンジニアリング	271	304	307	415	1,296	<b>281</b>	
東レ建設	103	89	82	198	473	<b>103</b>	
東レフィルム加工	91	93	98	94	376	<b>101</b>	
在東南アジア・ 子会社	繊維	357	409	410	388	1,564	<b>403</b>
	機能化成品	224	228	245	253	950	<b>282</b>
	その他	3	2	2	2	9	<b>2</b>
	計	584	640	657	643	2,523	<b>687</b>
在中国・ 子会社	繊維	645	773	785	589	2,791	<b>792</b>
	機能化成品	253	273	298	280	1,105	<b>313</b>
	その他	118	123	122	113	476	<b>130</b>
	計	1,016	1,169	1,205	982	4,372	<b>1,235</b>
在韩国・ 子会社	繊維	253	249	248	266	1,016	<b>248</b>
	機能化成品	397	421	400	441	1,660	<b>497</b>
	その他	88	89	90	80	347	<b>83</b>
	計	738	758	738	787	3,022	<b>828</b>



# 主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

	24年3月期					25年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	
東レインターナショナル	28	40	35	30	134	31	
東レエンジニアリング	8	11	12	32	63	10	
東レ建設	9	▲ 0	▲ 1	14	22	3	
東レフィルム加工	4	2	7	9	22	6	
在東南アジア・ 子会社	繊維	▲ 5	6	12	13	26	14
	機能化成品	▲ 5	▲ 3	7	12	11	11
	その他	0	▲ 0	0	0	1	0
	計	▲ 9	3	19	26	38	25
在中国・ 子会社	繊維	46	75	79	57	257	73
	機能化成品	19	20	26	28	92	23
	その他	15	11	10	5	42	12
	計	79	106	116	90	391	107
在韩国・ 子会社	繊維	▲ 0	▲ 11	▲ 13	▲ 15	▲ 40	▲ 3
	機能化成品	12	4	6	12	34	48
	その他	13	9	8	6	35	9
	計	24	2	1	3	29	54

# ESGに関する社外からの評価

## ■ MSCI

2024年6月

**MSCI**  
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA **AAA**

## ■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

**2024** MSCI ESG Leaders  
Indexes Constituent

2024年6月  
「MSCI ESG Leaders Indexes」

## ■ CDP

2024年2月

Water Security:A-  
Climate Change:B

## ■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2024年2月

Toray Industries, Inc.  
Chemicals

**Sustainability  
Yearbook Member**

S&P Global Corporate Sustainability  
Assessment (CSA) Score 2023

S&P Global CSA Score 2023: 63/100  
Score date: February 7, 2024  
The S&P Global Corporate Sustainability Assessment (CSA) Score is the S&P  
Global ESG Score without the inclusion of any modeling approaches.  
Position and scores are industry specific and reflect exclusion screening criteria.  
Learn more at <https://www.spglobal.com/esg/sustainability/yearbook/methodology/>

S&P Global Sustainable1

Member of

**Dow Jones  
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

2023年12月  
「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」の  
Asia/Pacific Index



FTSE4Good

2024年6月  
「FTSE4Good Index Series」

## ■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



**FTSE Blossom  
Japan Index**



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**



**2024 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数**

※1 東レ(株)のMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社(「MSCI」)のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる東レ(株)の後援、宣伝、販売促進ではありません。

MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの財産であり、「現状有姿」にて提供され保証はありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

※2 東レ(株)がMSCIインデックスに含まれること、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による東レ(株)への後援、宣伝、販売促進には該当しません。

MSCIの独占的所有権であるMSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

**'TORAY'**

**Innovation by Chemistry**